

県下の地価公示の特徴

1 全体

- (1) 継続調査地点 336 地点すべてで下落しました。
昨年上昇した軽井沢町の 3 地点（住宅地 2 地点、商業地 1 地点）、横ばいとなった松本市及び飯田市の住宅地各 1 地点、長野市の商業地 6 地点及び松本市の準工業地 1 地点でも下落しました。
- (2) 平均変動率は、すべての用途で下落幅が昨年より拡大しました。

2 住宅地

- (1) 継続調査地点 215 地点すべてで下落しました。
昨年上昇した軽井沢町の 2 地点、横ばいとなった松本市及び飯田市の各 1 地点でも下落しました。
- (2) 平均変動率は、-3.1%と 12 年連続の下落となり、下落幅は昨年（-2.6%）より拡大しました。
- (3) 市町村別では、軽井沢町の平均変動率が昨年の 4.6%から-2.0%となり、下落に転じました。
下落幅は中川村（H20 -0.6%→H21 -0.6%）、松川村（H20 -4.9%→H21 -4.2%）及び白馬村（H20 -4.3%→H21 -4.2%）を除き拡大しました。
- (4) 長野市では、下落幅が拡大（H20 -2.0%→H21 -2.5%）しました。
- (5) 松本市では、下落幅が拡大（H20 -1.9%→H21 -2.4%）しました。
- (6) 最高価格地点は、長野-13（妻科神社南）で 98,300 円/㎡（-1.7%）でした。
これは、平成 12 年に標準地に設定して以来 10 年連続です。

3 商業地

- (1) 継続調査地点 88 地点すべてで下落しました。
昨年上昇した軽井沢町の 1 地点、横ばいとなった長野市の 6 地点でも下落しました。
- (2) 平均変動率は、-4.2%と 17 年連続の下落となり、下落幅は昨年（-3.3%）より拡大しました。
- (3) 市町村別では、軽井沢町の平均変動率が昨年の 13.4%から-1.2%となり、下落に転じました。
下落幅は中野市（H20 -4.1%→H21 -4.1%）、上松町（H20 -5.0%→H21 -3.3%）、木曾町（H20 -5.5%→H21 -3.7%）、池田町（H20 -4.4%→H21 -4.2%）を除き拡大しました。
- (4) 長野市では、下落幅が拡大（H20 -1.0%→H21 -2.3%）しました。
- (5) 松本市では、下落幅が拡大（H20 -3.1%→H21 -3.4%）しました。
- (6) 最高価格地点は、長野 5-2（長野駅前）で 503,000 円/㎡（-2.3%）でした。
これは、平成元年に標準地に設定して以来 21 年連続です。